

## 令和4年度第3回防府市図書館協議会

日時：令和5年2月10日(金) 午前10時～午前11時

場所：防府市役所 1号館3階南北会議室

### ■出席者

(委員)藤村会長、安光副会長、有吉委員、岡委員、岡田委員、河村委員、  
津田委員、新田委員、山崎委員、吉武委員(計10名)

(事務局)江山教育長、高橋教育部長、石丸教育部次長、松田教育総務課長、  
大野図書館長

### ■議事録

#### ○事務局

定刻になりましたので、ただ今から「令和4年度第3回 防府市図書館協議会」を開催いたします。

本日、お集まりの委員の皆様には、大変御多忙の中、御出席を賜りましてありがとうございます。

それでは、手元の会議次第にしたがいまして進めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、防府市図書館協議会規則第三条第1項により、これからの会議につきましても、藤村会長に議事進行をお願いいたします。

(会長挨拶)

#### ○議長

それでは、今回の会議につきましても前回までと同様に、会議及び会議録につきましても、「公開」ということでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

では、異議なしということで、「公開」で進めてまいりますので、よろしくお願ひします。

それではこれより議事に入ります。スムーズに運びますように、御協力お願ひします。

議題1の令和5年度事業計画について事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局

今年度第2回協議会におきまして、令和4年度の図書館事業の実施状況を御報告し、委員の皆様から御意見をいただきました。いただいた御意見と第1回の協議会で出された令和3年度の実施状況評価を踏まえて、図書館で令和5年

度の事業計画案を作成しました。

防府市文化振興財団の事業計画は、2月15日に開催予定の理事会等を経て、正式決定となるため、現時点での計画は(案)の段階でございますが、本日は、図書館から令和5年度の図書館の事業計画を御説明し、事業内容や進め方について、御質問や御意見をいただきたいと存じます。

それでは、図書館長から御説明いたします。

○館長

皆様には、あらかじめ資料に目を通していただいているという前提で、ここでは令和5年度からの変更点や、特に重点的に取り組んでまいりたいことを中心に御説明させていただきます。

なお、時間の都合上、各項目名についてはいちいち読み上げることはせず、数字番号で御説明させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### 1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

まず、1ページ目の1-(1)の①ですが、ご存じのように昨年10月1日、インターネットを通じて、いつでもどこでも電子書籍を利用できる、防府市電子図書館をスタートいたしました。今年度は導入初年度ということもあり、電子書籍を約1,000冊購入させていただきましたが、令和5年度は500冊とさせていただきます。その関係で、いわゆる紙の本は、視聴覚資料も含めてすべての購入目標冊数を全体として見直しさせていただきました。

まず、紙の本ですが、一般書7,700冊(今年度7,600冊)、児童書2,200冊(今年度2,400冊)、郷土関係100冊(今年度100冊)、都合10,000冊を購入予定でございます。視聴覚資料につきましては、CD100点(今年度130点)、DVD30点(今年度25点)と変更いたしました。

続きまして、1-(3)の①ですが、移動図書館車のサービスステーションについては、今年度から1か所増の37ステーションとしました。しかしながら、今年度の利用状況を見ますと、臨時休館中の利用の多かった昨年度に比べて全体的に減ってきております。来年度は、そうした利用状況を見ながら、運行コースや滞在時間、ステーションの一部変更など全般的な見直しを行いたいと思っております。

○議長

第1項目について、ただいまの御説明に対する御質問、御意見がございましたら、お願いします。

○委員

令和5年の新しい事業として、1-(2)②のInstagramが入っていますが、これに載せるものの基準がありますか。

○館長

今、御指摘の点につきましては、実は既に令和4年12月21日からスタートしております。本格的に動き出しましたのは、この1月からでございますが、内容的には、図書館が主催するいろんなイベント、あるいは連絡事項や利用案内等を、基本的には掲載しております。

ご存じのとおり写真情報と言いますか、デジタル情報になりますので、あまり文字は多くありませんけれども、ぜひ一度、御覧いただければと思います。

まだ、改善していかなければならない点が多々あると思いますので、皆様により情報が正確に早く伝わるように努めてまいりたいと思います。

○議長

よろしいですかね。他にはいかがですか。

それでは、電子図書館サービスの利用状況はどうですか。

○館長

資料は用意しておりませんが、口頭で申し上げますと、いわゆる貸出冊数については、スタートした10月が1,465冊、11月が712冊、12月が504冊、1月680冊ということで、1月末現在までに貸出冊数が、3,361冊という状況でございます。

10月につきましては、物珍しいということで利用が多く、12月の減り方が大きかったので、後で御説明いたしますが、電子図書館について皆様に周知していくということを考えております。

○議長

利用者懇談会とかサークル連絡会などでも説明されていましたが、何か出張講座のようなものはされておられるのですか。

○館長

電子図書館については、後ほど項目6のところでお説明をいたします。

○議長

では、その時にお願いします。

1-(2)下から4行目あたりに出ていますが、安全で快適な環境の整備とありますが、国の方も5月8日に新型コロナを2類から5類に変更するという話が出ていて、マスクの着用についても来月中旬には自由意志に任せるといふようなことも出てきそうですけれども、図書館として、教育委員会として、になるとは思います。対応がどのように変わっていくのか、また、いつ頃かについて、ある程度わかっているようでしたら、お願いします。

○事務局

会長がおっしゃいましたように、今、国の方で段階的に緩和していくということで、その内容については、いろいろと議論をされている途中でもございます。

全国の図書館について、図書館協会の取扱い等を見ても、今のところ新しい動きが出ていなかったと思いますので、そういった議論の状況等も踏まえながら、合わせて緩和していく形で検討をしていくことになると思います。

○議長

緩和の方向に向かっていくことを願っています。

他に、御質問等ございませんか。

それでは次をお願いします。

○館長

#### **2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館**

続いて3ページ目、2-(1)の①ですが、従来、愛情フリーマーケットに合わせて開催していた「図書館まつり」について、高校生や大学生ボランティアにたくさん参加してもらえる日程にしようということで、来年度より、10月の最終日曜日に開催することとなりました。

なお、ボランティアとして御協力いただいている団体の皆様も、メンバーの高齢化ということがあり、また、若いボランティアを育成していくうえでも、「図書館まつり」でのボランティアがきっかけとなるよう、市内の高校生により積極的に参加を呼び掛けてまいりたいと思います。

○議長

第2項目について、御説明がありました。何か御質問、御意見等ございませんか。

○委員

今、館長から高校生や大学生の参加を呼び掛けるという御提案がありましたが、大変良かったと思います。具体的には、10月29日かなと思っておりますが、館長の提案の中で、お手伝いと言われたかもしれませんが、どうだったでしょうか。

山口市立中央図書館でも、山口県立大学から学生がお手伝いの感覚だったのですが、今やクイズやゲームを企画するという1つのコーナーを設けているということです。例えば、高校生が小・中学生を対象に図書館を使ったクイズなどを一緒に作り上げていくという方向性がないのではないかと思います。考えておられるかもしれませんが、少し気になりましたので、発言いたしました。

○館長

今の委員の御指摘の件につきましては、図書館まつりの実行委員会でも委員の方から、高校生の企画を考えてもらったという意見が出ております。まだ具体化はしてありませんが、今後の課題ということで取り組んでまいりたいと思います。

○議長

子ども読書フェスティバルと図書館まつりについては、後の方でも話題になるかと思えます。では、次をお願いします。

○館長

3 生涯学習の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館  
続いて、同じく3ページ目、3-(1)の①「トークイベント」についてです。

来年度5月28日に開催する第11回「子ども読書フェスティバル」の午前中におきまして、福岡在住の絵本作家・イラストレーターの、よしながこうたくさんによる講演会とワークショップを開催する予定でございます。

なお、それに併せて、図書館内でもおはなし会などのイベントを企画し、より多くの子どもたちが参加できるイベントにしたいと考えています。

○議長

ただ今の御説明について、御意見、御質問がございましたらお願いします。

昨年度の子ども読書フェスティバルは、那須正幹さんの追悼イベントになった関係や雨が降ったこともありまして、子どもの参加が本当に少なかったのですけれども、今年は人気絵本作家のよしながこうたくさんがお越しになるということで、子どもの参加でにぎわうのではないかと思います。

このあたりについて、何か御意見はございますか。

○委員

子ども読書フェスティバルへの子どもの参加については、皆様が望んでいることでございます。多くの子どもたちにいろいろな作品に触れてほしいという思いもありますので、PRとしてチラシを各小学校に配付していただいておりますが、少し大きい字にさせていただいて、子どもたちが進んで来てくれるようにしたり、子どもたちが飛びつくような内容を記載したりしていただければいいと思います。

私たちが子どもたちにPRしますので、委員の皆様もみんなが身近な者にPRして、多くの子どもたちに参加をしていただきたいと思います。

○議長

委員に広報担当がおられますが、いかがですか。なかなか難しいですね。

○委員

はい。広報を担当しておりますが、御期待にそえるように、なんとか頑張ります。よろしくをお願いします。

○委員

小学生は、保護者がいて、連れてくるパターンだと思いますので、保護者にも行きわたるといいなと思います。

今まで来ている子どもたちを見ていると、遠くても保護者が連れてくるわ

けですので、保護者への PR も大切だと思います。

○委員

子どもたちへの PR の話が出ておりますが、読書は、子どもの健やかな成長に大きく寄与するだけに、青少年育成市民会議でも機会あるごとに PR に努めていきたいと考えております。

市民会議では、関係機関の協力のもと、「家庭の日」(第3日曜日)運動の推進に取り組んでいます。今回の「子ども読書フェスティバル」は、第4日曜日の開催となっているように、第3日曜日にこだわらず広がっていくことを期待しており、いろいろな会議等で紹介していきたいと思っております。

○議長

ぜひ、よろしくお願いします。

以前、ある委員から御意見がありました。シニア向けサービス「大人のくらし塾」を始めて、なかなか御好評のようですね。シニア自体が講師を務めることについては、森川前館長が務めておられますね。

それでは、大項目4をお願いします。

○館長

**4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館**

続いて、同じく3ページ目、4-(1)の②です。今年が上山満之進翁の没後85年ということで、ブラウジングコーナーにおいて「上山満之進没後85年展」(会期：9月6日(水)～10月2日(月))と題して、パネルと関連資料の展示を行い、上山翁と三哲文庫を顕彰する予定にしています。

○議長

来年度も、図書館を使った調べる学習コンクールにおいて、上山満之進賞を続けられますかね。今年は、素晴らしい作品が出ていて良かったなと思っておりますが、そのうち上山翁自体を題材にした作品が出てくる可能性もありますね。

郷土資料については、職員の習熟が大切だと思いますが、図書館として職員に対して郷土資料関係についての研修等に努めておられることがありましたら、お聞きしたいと思います。

○館長

御承知のように、コロナの関係で研修はウェブでの研修になるのですが、今年も郷土関係資料等の収集の研修には、職員が参加しております。コロナが落ち着きましたら、全国の先進的な所にも職員を派遣して学ばせたいと考えております。現時点では県外に出すことは考えておりませんが、次年度以降は、取り組んでまいりたいと思います。

○議長

では、次の大項目 5 について、先ほどの件も含めて御説明をお願いします。

○館長

**5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館**

続きまして 4 ページ目、5-(2)の②ですが、従来のような公会堂・アスピラート・ソラールとの個別連携展示だけでなく、これはまだ具体化はしておりませんが、例えば、来年度の「防府市文化振興財団」設立 25 周年に合わせて記念特別企画ができないかなど、財団全体での取り組みを検討しております。他館との日程等が必要でございますので、随時開催している財団内の連携会議の中で、詰めてまいりたいと考えております。

○議長

ただ今の説明について、御意見、御質問等がございましたら、お願いします。

学校図書館との連携が出ておりますが、今年 1 月に「学校図書館を考える会」で向島小学校に見学に行ってきました。ご存じのとおり、小規模校には図書費の配分が、どうしても少ないということで、図書の充実というところで苦勞されているということでした。ただ、向島小学校には移動図書館車が巡回しているため、大変助かっているということですし、小規模校への図書館からの支援、サポートがありがたいということで、校長先生も感謝しておられました。

西浦小学校も小規模校ですが、いかがですか。

○委員

移動図書館が来てくださるので、子どもたちも大変喜んで利用させていただいておりますし、また学校司書さんとの連携をさせていただいているので、図書館教育が大変充実しているなど感じております。

○議長

先ほどの「学校図書館を考える会」では、市内の小・中学校を見学しておりますが、中学校は 4 校、小学校は 10 校以上になります。中学校を見学しておりますと、中学生の図書館利用は小学生と比べると、かなり少ないようですが、中学校長としては、いかがですか。

○委員

移動図書館車は、今年度も本校に来ていただいているが、なかなか学校の子どもたちとの時間帯が合わないということがありました。

学校図書館については、中学校の昼休み時間が大変短いので、全く利用しないということではないのですが、学校生活の面でも利用しにくい面もあるのかなど考えておりますが、先日も学校司書に校内放送で呼びかけていただいたりとか、選書会を積極的に開催したりとかの活動をしているところです。

○議長

学校図書ボランティアネットとして、委員の御意見は、どうですか。

○委員

学校図書館関係では、希望と1点お聞きしたいことがあります。

子どもたちの時間がすごく忙しいというのはわかるのですが、それに対して図書館ができることといえば、いつでも利用時間、いつでも来館できるようにしておくのが基本です。中学校の場合には、それがなかなかできていないところが多いようで、開館は昼休みだけとかになっているようです。でも、学校司書さんがいれば、子どもは5分あれば本を借りていきますので、中間時間とか休み時間でも通りがかりに寄れるぐらいの環境を整備していただきたいなという希望があります。

もう一つお聞きしたいのが、防府図書館が学校司書さんに行っている研修というものがあれば、その内容を知りたいなと思いました。

○館長

図書館が、学校司書さんにとすることは、現在は特に行っておりません。研修会の会場を提供するぐらいです。

ただ、まだコロナですので、留守家庭児童学級に対しては、図書館職員が選書の代行をして、交換することをつづけておりますし、コロナがまだ続くということで、引き続き行ってまいります。

御質問のあった学校司書さんへの研修はしておりませんが、学校ボランティア講座の募集をしておりますが、こちらへの参加を呼び掛ける所ではないかと思えます。

○委員

防府市の学校司書の採用基準が、司書資格がなくてもなれるため、新しい学校司書が勤務した際に図書館の知識が必要な方もおられるのではないかと想像したため、お聞きしました。

○議長

他にございましたら。

いずれにしても、学校司書が大変頑張っておられて、学校見学に行っても、昔とはずいぶん変わったなと感心しております。県内では、学校図書館と図書館の連携が最も進んでいるので、今後とも努力していただければと思います。

それでは、大項目6をお願いします。

○館長

**6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館**

続いて同じく4ページ目、6-(1)の①ですが、前回の図書館協議会で御提案のありましたタブレット端末を使った電子図書館の利用について、早速、昨年末、教育委員会の御協力のもと、市内各小・中学校の児童・生徒のみなさんに電子図書館を利用していただくよう、利用登録の一括申請を呼び掛けさせていただ

きました。全小中学生というわけにはまいりませんでした。おかげをもちまして約 300 名の児童・生徒さんが新規に利用登録をしてくださいました。先ほど申し上げたように、1 月に電子図書館の利用数が若干増えているのも、そういったことがあるのではないかと考えております。

来年度は、さらに一歩進めて、各小・中学校に職員を派遣し、いわゆる出前講座というかたちで利用指導をする中で、その利用促進に努めていきたいと考えております。小・中学校から御要望があれば、図書館職員を派遣して図書館の使い方等の利用案内をするという風に考えております。

○議長

御質問、御意見、御要望等がございましたら。

○委員

早速、いろいろと学校の方に動いていただき、ありがとうございました。利用登録を 300 名の方がされたということでしたが、利用については、これからも増えていくのではないかと思います。ここで気になることが、電子書籍、電子図書館の選書基準なのですけれども、以前にも申しあげた時に、子どもたちが ID とパスワードで、いつも図書館の資料をみられるということでしたが、対象のコンテンツ、資料が少ないという話を思い出しまして、選書基準についてです。これについて、どういう対象者に、どういう資料を提供するのかという選書基準がありますでしょうか。

○館長

電子書籍の選書につきましては、基本的には、紙の本と同じ要綱に従って選書しておりますけれども、若干児童書が少ないという御指摘は、確かにおっしゃる通りでございます。一般書の場合は、児童書の約 3 倍になるのですが、今年度購入した 1,000 冊の中で、今現在は、233 冊が児童書になっております。児童書が全体の 1/4 となり、紙の本の割合より若干、児童書が少なかったもので、次年度は、その辺りの見直しをしまして、500 冊のうちの 1/3 ぐらいは児童書にあてていきたいと考えております。

また、具体的な選書作業につきましては、数名の選書担当の職員で選書をしているのが実情です。

○議長

この電子図書館用の資料は、図書費の中で購入になるのですかね。

○館長

おっしゃる通りでございます。指定管理の場合、5 年間の図書費の枠が決まっておりますので、その中で電子書籍を購入しておりますので、裏を返せば、その分、紙の図書費が減ることになります。

○議長

電子書籍の場合は、ライセンス型と買い切り型があつて、ライセンス型は要するに、2年間とか52回とかの借用権の制限がありますので、収集にも苦労される面があるかと思ひますけれども、一方、買い切り型は、タイトル数も少ないようで、選書には苦労されると思ひますが、いかがですかね。

○館長

御指摘のとおりでございます。ライセンス型は、2年ないし3年ということで、基本的には2年が多いようです。そうしますと、ライセンスが切れた段階で、蔵書冊数が自動的に減ることになります。毎年更新していく中で、今年度1,000冊、来年度500冊で、2年度目までは1,500冊にはなりますが、3年度以降は、そのうちライセンスが切れる本もあり、その分減るので、500冊購入しても2,000冊にはならないということでございます。その割合については、検討の余地があると思ひますが、今後の利用状況等も踏まえまして、研究を重ねていきたいと思ひております。

○議長

他に、電子書籍等で不明な点があるかと思ひますが、いかがですか。

○委員

10月1日から電子図書館が始まりまして、あたりし物好きな私は登録してすぐ使い始めましたが、電子書籍なので、1冊の本をみんなで見られると思ひていたのですが、1人が1冊を見るようになっていて、人気本は予約をして待つことになるのですが、その辺りがもどかしく思ひました。

新聞やニュースは、今やインターネットでいろいろとみられるようになってるので、スマホで見ればいいのですが、ピンポイントではあつても、紙の本はいろいろな本がある図書館に行って、たくさんの本を見て、またそこで選ぶという楽しさがあるので、私はまだ元気で図書館に通つて借りられるので、まだ電子図書館はいいかなという感想でした。

それから、図書館のインスタグラムが始まって、私もフォローし始めたのですが、今の高校生はスマホを持ってやっているので、そういう風にかかれた図書館が、引かかってくれるといいなと思ひております。

○議長

大項目6の一番最後行の所に、図書館職員のブックトークというのが出ていますが、図書館利用者サークル連絡会の活動発表会の時にも、実践していただいておりますし、お話し会の時にも職員の方にやっていただいておりますけれども、大変良く調べておられると感心しております。

それでは、大項目7に行きましようか。

○館長

7 障害者や高齢者に優しい図書館

続いて同じく4ページ目、7-(2)の①ですが、昨年4月の「ひなぎくネット」、10月の「電子図書館」のスタートによって、インターネットを使った音声デジジーやオーディオブックの利用が可能になりました。

しかしながら、前回の図書館協議会でも報告いたしましたが、ここまでのところ利用状況が期待していたほどではございません。

来年度は、総合支援学校や生活支援センターなどへも広報活動の幅を広げ、その周知と利用促進に努めてまいりたいと思います。

○議長

先ほどの電子図書館の関係でもありますが、確かにパソコンやスマホなどの端末等の画面で読んだりするのは慣れない面がありますけれども、音声読み上げ機能とか、文字を見やすくするための反転機能とか、いろいろとありますので、障害者の方にとっては使いやすい面もあると思います。

実際に電子図書館に利用登録されている方がおられるのかについては、分かりませんか。

○館長

御登録されている方が障害をお持ちかどうかについては、わかりませんが、おかげをもちまして、郵送貸出は、今年度登録が3名増えまして、去年は0でしたが、御利用いただけているということになります。

○議長

個人情報に類する部類かと思えますけれども。

他にはございませんか。

○委員

郵送貸出ですが、私たちが広報のCDを置かせていただいているのですが、これは本の貸出についてですか。

○館長

郵送貸出の方は、障害をお持ちの方で来館が難しい方に登録をいただきまして、郵送で資料を貸出しております。ですから、本がほとんどになります。

○委員

視覚障害者の方への貸出については、市広報CDもあると思うのですが、あまり利用がないように思います。できれば、そういう感じで、私たちが直接、貸出をしているのですが、図書館に置いた場合は、今のところ、どなたかに来館していただかないと貸出ができないのではないかなと思うので、利用方法に郵送があればいいのではないかと思いました。

○館長

ありがとうございました。

ひなぎくネットについては、CD等の郵送、あるいは公民館での受け取りにつ

いても可能ということになっておりますので、利用しやすい状況を考えて、実際に運営しているところがございますが、おっしゃるとおり、市広報等のCD等の貸出については、実際にはございませんので、なかなか足が向きにくいのかなというところがございます。また社会福祉協議会等とも相談をしながら、より利用しやすい形を検討してまいります。

○議長

はい、ありがとうございます。

だいたい皆様に御意見を言っていたいただきましたが、他に御発言がございましたら、お願いします。

○委員

今の項目 7-(3)障害のある方のためのボランティア活動支援業務というのは、実際どんな感じのことですか。

○館長

具体的に申しますと、例えば、「みどりの会」さんが録音室を使用される時には場所の提供であったり、点訳ボランティア団体の「青い鳥の会」さんなどには、図書館まつりに参加して、展示の御案内を差し上げたりという、図書館は、支援と言ってもお手伝い程度、施設の貸出と展示への呼びかけとかまでで止まっているところがございます。

○館長

今年度から図書館まつりの実行委員長をされておられる委員さん、御感想はいかがでしょうか。

○委員

今年度も引き続き私が務めるようになるのかわかりませんが、今年は、私の意見として形にしていけないと、去年までの踏襲ではいけないと思うので、出来れば、高校生のボランティアも一緒に参加型でという話がありましたので、すごい御提案だなと思っておりますが、また皆様で検討していきたいと思えます。よろしく申し上げます。

○議長

頑張ってください。

全体を通して何かございましたら。

○委員

いろいろな所で話題になるのは、紙芝居の棚の件について、課題にしなければいけないのではないかと思います。誰に聞いても利用しにくいと言われるのですが、それを利用しやすくしていく努力が必要だと思うので、どういう風にやったらよいかというのを研究してもらったらと思います。

今、1つ言っているのは、請求番号別ではなくてテーマ別にしたらどうかとい

う意見がありますので、分け方についても問題があるかとも思いますので、どうかと思っております。

○議長

子どものコーナーには、来月3月、表紙見せのできる布絵本を中心とした絵本の飾り棚ができるようですけれども、紙芝居の棚についても何らかの工夫が必要かと思えますね。

それでは、その他について、事務局から何かございますでしょうか。

○事務局

今年度の協議会につきましては、今日が最後となりますけれども、令和5年度第1回図書館協議会では、令和4年度の事業の評価をしていただくこととなります。6月頃に図書館が自己評価したものを委員の皆様にお送りいたしますので、評価シートに御意見を御記入いただきまして、これを基にして第1回の会議を開催し、協議をお願いしたいと考えております。開催時期は、7月頃を予定しております。

○議長

私から要望を1つ。研修室の空調について、夏はあまり冷房が効かない、冬は暖房がきかないという状況です。一回修理をされたようですが、なんとか早い時期に対応できないものかと思えますが、いかがでしょうかね。

○館長

皆様には、大変御迷惑をおかけしております。

2年前に修理をしていただいたのですが、実質的には、ほとんど直っていないような状況でして、お金をかけたのはどこに行ったのかという思いですが、現在、見積を取っておりますので、研修室専用のエアコンで室外機をつけてという計画をしておりますが、あとはお金の問題ですので、何とかその都合がつけられればということで検討中でございます。できれば夏、高齢者の利用が多いので、熱中症にならないようにと考えておりますが、今はまだその段階で、行きますということが申し上げにくいのですが、見積は取っているところでございます。

○議長

はい、わかりました。それでは、長時間にわたり御協議いただきまして、ありがとうございました。

本日は、令和4年度第3回目の協議会で、来年度の事業計画について図書館から説明を受け、委員の皆様の御意見をいただきました。今後も委員の皆様の御意見をいただきながら、図書館事業が充実したものになるよう協議を進めていきたいと考えております。図書館が生涯学習の中核施設、また知の情報拠点として一層充実、発展していきますように、今後とも御協力よろしく願います。

たします。

これをもちまして、本日の議題等について、全て終了いたしました。  
委員の皆様、ありがとうございました。